

令和3年度 社会福祉法人雄心会 事業計画

《基本理念》

「安心できる環境で良質かつ専門的な福祉サービスを提供する」

ー実践要綱ー

1. 良質な福祉サービス

- ・利用者・ご家族の尊厳を尊重し、生き甲斐のある自立した生活を実現できるよう支援する。
- ・専門的な知識と技術を研鑽し常に地域福祉の先端を目指す。
- ・教育、研究分野に対する積極的な姿勢を持ち、福祉サービスの向上を図る。

2. 社会貢献

- ・地域の住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに積極的に対応する。
- ・地域の皆さんと分け隔てなく支え合う幅広い福祉サービスを提供する。

3. 利用者の満足

- ・思考と行動を利用者中心とし、利用者、家族から信頼される福祉サービスを提供する。
- ・相手を尊重し温かみある対応を心がけ、心が通じ合う福祉サービスを提供する。

4. 職員幸福

- ・職員全員が福祉の心を持ち、自己を高める事ができる人材育成をする。
- ・職員その家族の幸せを考えられる職場作りに努める。

《法人全体の事業計画》

平成24年10月法人設立時の「介護老人保健施設いなほ」1施設体制から平成30年4月「複合型施設いなほ」、平成30年10月「養護老人ホームひのき」開設により、運営施設が3施設に拡大しました。

事業拡大に伴い職員数が急激に増加し、介護人材の確保・定着促進が喫緊の課題となっていることから、次の3本柱を掲げ、介護職の魅力向上、介護の価値の高揚を図り、魅力のある法人を作ります。

①現在の業務を適正なものにするための「業務改善プロジェクト」

②皆が働きやすい環境、待遇を考えるための「環境・待遇改善プロジェクト」

③介護の知識、技術と共に人として成長していくための「人材育成プロジェクト」

今年度においては、まずは新たなチャレンジを行う余裕を得るために、現状の業務改善を優先に取り組むこととします。

また、令和2年2月に第1期生として2人のベトナム人を受け入れた「外国人技能実習生」を計画的に継続するなど外国人介護人材を採用することにより、職員が働きながら異文化交流を経験することによる国際的視野の享受、さらには、技術供与することによるスキルアップに寄与します。

このような取り組みにより、「働き方改革」に沿った職員のワークライフバランスの推進、働く皆さんが楽しく貢献意義を持てる、より働きやすい環境作り、利用者様に質の高いケアを届け、よりよく生きようという意欲を持っていただく、人生はまだ楽しいと思っていただけるよう尽力し、「働いてみたい・利用してみたい施設」を目指します。

《介護老人保健施設いなほの事業計画》

1. 事業計画総括

3施設中、今や「基幹事業」として位置づけられる老健事業ですが、昨年度は入院者数が多く、また、コロナ禍の影響からも入所部門の稼働率が目標値よりも低値となりました。通所部門においては感染症対策を徹底し、今年度目標人数が到達できる予定であります。新年度は各部門目標値に到達できるよう課題の抽出・解消の取り組みはもちろんのこと、終息の目途が立たない新型コロナウイルス感染症との感染症対策を第一に安全に利用できるサービス施設運営を目指します。

次年度は介護報酬改定を予定しております。より一層老健施設へは「地域包括支援システム」の推進が求められます。リハビリテーションマネジメントの強化から、他事業との連携や地域でのリハビリを進めます。今年度コロナ禍の感染防止から進捗ができなかったセラピスト中心に開催してきた地域リハビリテーション講座など、再開に向けて各関係機関と調整し、コロナ禍の影響を鑑みて開催を模索します。

また、介護人材の確保から今年度より外国人技能実習生が入職しております。技能実習生への技能習得へ向けての教育を重点に進め、既存の介護職員においてもこれまでの業務見直しやテクノロジーを活用した業務効率化を図ることで、働きやすい環境の整備に尽力します。

―各事業の運営目標―

	事業種別	目標（1日平均利用者数）
1	介護老人保健施設事業	91.2名
2	短期入所療養介護事業	1.0名
3	通所リハビリテーション事業	31.0名
4	介護予防通所リハビリテーション事業	4.0名

2. 老 健：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
7月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として複合型施設と合同開催。各種イベントを企画する。
9月	慶祝会	祝い年齢該当者のお祝いや地域ボランティアを招致する。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じてもらう。
11月	調理レクリエーション （各ユニット企画）	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒にやる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。

1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	月1回	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
広報・ボランティア委員会	月1回	福祉活動の拠点となり、地域との連携を大切に活動する。
感染対策委員会	1回/2ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全抑制対策委員会	月1回	事故、身体拘束及び虐待の防止と適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
企画委員会	随時	慶祝会、クリスマス会、新年会の施設行事の企画運営を実施する。
口腔衛生委員会	月1回	口腔衛生の維持・向上を主眼に置く。一連の口腔清掃を中心とした口腔ケアと機能の増進を図る。
衛生管理委員会	月1回	施設職員の労務環境、健康管理等の維持・改善について協議する。

＜複合型施設いなほの事業計画＞

1. 事業計画総括

開設より3年が経過し利用者の確保や前年度の目標に掲げました「ケア」の質向上を目指し、職員の各種研修会参加等、試行錯誤を重ねてまいりました。「法人全体」でも掲げました事務分掌の確立にも取り組みましたが、今年度も整備が必要な状況となります。

4年目を迎える令和3年度は、深刻な人材不足が懸念される中、外国人技能実習生の受入れを進め、より一層の介護サービスの充実を図ります。

また令和3年度、介護報酬改定にも上げられております感染症対策の強化、災害への地域と連携した対応の強化の構築に努めます。加えて、無料開放事業の推進など関連施設とより一層の連携を強め地域住民との交流、更に利用者の生活を第一に施設職員が一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

―各事業の運営目標―

	事業種別	目標（1日平均利用者数）
1	地域密着型特別養護老人ホーム事業	26.0名

2	短期入所生活介護事業		2.5 名
3	通所介護事業		25.0 名 ※R4 年 3 月末時点
4	第 1 号通所事業（総合事業）		20.0 名 ※R4 年 3 月末時点
5	居宅介護支援事業	居宅支援	90 件
		受託事業	18 件
6	多機能型自立訓練事業	機能訓練	6 名 ※R4 年 3 月末時点
		生活訓練	4 名 ※R4 年 3 月末時点
7	サービス付き高齢者向け住宅事業	1 人部屋	23 室
		2 人部屋	9 室

2. 特 養：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（各ユニット企画）	季節を感じていただき活動の拡大や気分転換を図る。
5月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、気分転換や他者との交流を図る。
6月	ほあかり合同運動会	他ユニットとの交流や身体を動かす機会を作り、活動場面の拡大を図る。
7月	七夕祭り	日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	いなほ祭り	夏祭り行事として老健施設と合同開催。他者との交流を図る。
9月	慶祝会	長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。
10月	紅葉見学ドライブ	紅葉見学から季節の変化を感じていただいたり、活動の拡大や気分転換を図る。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節を感じつつ交流や気分転換を図る。

3. サ高住：年間行事予定

月	行 事	目 的
4月	外出ドライブ（お買い物）	季節に合わせた衣服の購入や気分転換、他者との交流を深める。
5月	お花見ドライブ	桜を鑑賞し、季節を感じていただくことで気分転換や他者との交流を図る。
6月	外出ドライブ（外食）	おしゃれをして楽しんでもらいながら、気分転換をしつつ外食を満喫する。
7月	① 外出ドライブ（名所めぐり） ② セタ祭り	①観光名所等に出かけ、昔を懐かしみながら、地域交流を深める。 ②日本古来の行事を実施し短冊に長寿等の祈願を行う。また地域の子供と交流や気分転換を図る。
8月	① 流しソーメン ② いなほ祭りや地域のお祭り参加	①季節を感じて頂き気分転換を図る。 ②様々な祭りへ参加し季節感を楽しみ、地域・他者との交流や気分転換を図る。
9月	① 慶祝会 ② 外出ドライブ（お買い物）	①長寿のお祝いや地域ボランティアを招き、交流や気分転換を図る。 ②季節に合わせた衣服の購入や気分転換や他者との交流を深める。
10月	① 果物狩り（サクランボ、プルーン等） ② 紅葉見学ドライブ	①自然の中で食べるもぎたての旬の果物を味わい、季節感や交流を深め、気分転換を図る。 ②紅葉見学から季節の変化を感じる。
11月	北斗市文化祭見学	地域行事へ参加し、作成した作品を鑑賞し、地域とのふれあい、つながりを感じる。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招いての余興や季節にちなんだ食事と催しを楽しむ。
1月	新年会（調理レクリエーション）	利用者と協同しながら料理を楽しみ、気分転換や他者との交流を図る。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する
3月	お雛祭り	入居者と一緒に日本の伝統行事を祝いながら季節感を感じつつ、交流や気分転換を図る。

4. 各種委員会運営計画

新年度も前年度に引き続き、「介護老人保健施設いなほ」と合同開催とする。

《養護老人ホームひのきの事業計画》

1. 事業計画総括

昨年度、養護老人ホーム（特定施設入居者生活介護も含む）が 11 月で満床となり、より入所者に対するサービスを充実すべく指定変更を実施、養護老人ホーム入所者すべてに介護保険事業である「特定施設入居者生活介護」のサービスを提供できる体制を作りました。更に「短期入所生活介護」事業においても、利用ニーズが高く月平均 8 割強の利用状況となりました。

令和 3 年度は、より施設として基盤を盤石なものとするべく、安定した人材の確保、充実した職員教育・研修企画・参加の推進、各種マニュアルや業務内容等の見直しを図り、より良いサービスの提供を目指していきます。

昨年 4 月より通所介護事業を開設しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、感染防止対策の重視を余儀なくされ、ニーズに即した様々な活動を提供することができず、また広報活動においても不足な状況にありました。

令和 3 年度は、感染防止対策を徹底しながらも「居宅介護支援事業」も含め、地域の支えになるべく取り組みを強化していきます。

令和 3 年度全事業において、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築し、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、地域住民参加を含めた訓練（シミュレーション）の実施等、更に檜山地域の医療の基盤である「道立江差病院」との連携を強化し、より安定した施設運営、地域支援を目指し取り組んでいきます。

―各事業の運営目標―

	事業種別		目標（1 日平均利用者数）
1	養護老人ホーム事業（一般）		23.0 名
2	養護老人ホーム事業（特定施設）		43.5 名
3	短期入所生活介護事業		8.0 名
4	通所介護事業		7.8 名
5	第 1 号通所事業（総合事業）		2.8 名
6	居宅介護支援事業	居宅支援	54.7 件
		受託事業	19.5 件

2. 養 護：年間行事予定

月	行 事	目 的
4 月	外出ドライブ（各ユニット企画）	外出により気分転換や季節感を味わう。
5 月	お花見ドライブ	近隣の「桜」の名所へ出かけ、利用者に楽しい時間を過ごしていただく。
6 月	①屋外レクリエーション ②運動会	①外出の機会や施設屋外にある畑を耕し作物を植え入所者とともに管理収穫までの活動を楽しむ。 ②健康増進の啓発も含め運動会を企画。
7 月	七夕祭り	地域の子供を招き、日本古来の行事や交流を楽しんでいただく。

8月	納涼祭 ※町内会祭りへの参加	夏祭り行事として開催。各種イベントを企画する。柳崎町内会と連携を図り、地域行事への参加を企画及び検討。
9月	敬老会	祝い年齢該当者のお祝いや慰問者等を調整し企画及び実施。
10月	①紅葉見学ドライブ ②収穫祭	①外出の機会を作り四季の変化を味わい又買い物や外食を企画、楽しんでいただく。 ②畑で育てた作物を収穫し実りを楽しむ。
11月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	収穫した食材を含め調理内容を企画・調理を利用者と一緒に行う。
12月	クリスマス会	地域ボランティアを招き、季節にちなんだ食事と催しを楽しんでいただく。
1月	新年会・謡道会	職員やボランティアによる余興などで新年を皆でお祝いする。 子供民謡の披露。
2月	節分	豆まきを実施して邪気を払い一年の無病息災を祈願する。
3月	調理レクリエーション (各ユニット企画)	旬の食材を使用しリハビリを兼ねた調理を利用者と一緒に行う。

3. 各種委員会運営計画

委員会名	頻 度	目 的
教育委員会	1回/3ヶ月	職員の専門的教育計画を策定し、質の高いケアを実践できるよう指導する。
レク・行事委員会	1回/3ヶ月	日常生活におけるレクリエーションや運動の機会、趣味活動などメリハリのある生活が送れるよう企画・運営を行う。
感染対策委員会	1回/3ヶ月	感染症防止と発生時、適切な対処法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
安全対策委員会	1回/3ヶ月	ヒヤリハットやインシデントレポートを通じ、介護事故等に対し適切な対処方法を効果的かつ効率的に機能し実践する。
身体拘束廃止委員会 (虐待防止委員会)	1回/3ヶ月	事故、身体拘束及び虐待の防止についての知識及び理解を深めるとともにリスク管理を行う。 3ヶ月1回の研修会の開催及び外部研修への参加。